



練馬区議会民進党・無所属クラブ

白石けい子の区政レポート

会派連絡先 発行 民進党・無所属クラブ 練馬区豊玉北6-12-1 西庁舎6F



京都動物愛護センター



特集 消費税の増税分は、社会保障費として活かされるはずだったが……。 INDEX

- その1 待機児童本当にゼロ?
- その2 学校給食費の無償化は可能か?
- その3 教育改革と学習指導が変わる
- その4 だからこそ、体験学習が重要になってくる
- 「高齢者相談センター」が変わる!!
- としまえん城址公園に大きな期待?!
- 資源回収【ペットボトル・紙・缶】のリサイクル事業経費を知っていますか?
- 区財政のしくみ
- 議会改革いつやるの? 今でしょ! 一議会トピックス
- 新年度活動予定

報告書担当 白石けい子 練馬区議会議員会派政調会長
Tel 03-3990-3107 <http://www.shiraishi-keiko.net>
e-mail info@shiraishi-keiko.net

消費税の増税分は、社会保障費として活かされるはずだったが……。

—白石けい子が予算委員会で苦言・提言—

待機児童

本当にゼロ？

国や都の積極的な財政出動により、区も「待機児童『ゼロ』」を掲げたが、平成29年度への申込数は、転園希望者も含めて、5130人と、昨年よりも511人多く、入所枠は、3915人であるため、1531人が一次で内定しなかった。

政府は、国会の質問で、「待機児童対策の年度内の解消は無理！」と表明。4月の様子を見て、新たな政策を打ち出すとしているが……。

左記の表は、来年を目途に1000人規模の定員枠を増やし「ゼロ」を実現するというのが、

そうなれば、新たな入所希望者が流入してくることも考えられる。それだけに、これからの対策がより重要となるだろう。

8%となった消費税。3%分は、社会保障費（子ども・高齢者・年金・障害者・保健等の分野）

学校給食費の無償化は可能か？

練馬区の公立小・中学校99校の給食運営経費の約21億円が一般会計に計上された。

食材費として、各家庭から集金している給食費が約27億円の計算となるため、区内小・中学校での給食提供に係る総金額は、約48億円となる。

また、子どもにかかる教育費が無償であるならば、給食費も同じにするべきでは……との声も。

文科省は「社会が激変するなか、大学、大学入試、高校が変わらなければ日本は生き残れなくなる」と、これまでの大学入試に教育のゴールの傾向から大きくシフトさせ、グローバル化の社会に適応ができるよう個々の「思考力」「判断力」「表現力」「生きる力」が身に付いた「働ける人」づくりを目的としていくというものだ。

認可保育園・小規模保育所・認証保育園・認定こども園・練馬こども園・家庭保育ママ制度など、

「待機児童対策の年度内の解消は無理！」と表明。4月の様子を見て、新たな政策を打ち出すとしているが……。

「細かな計算・集金・未納家庭への再請求等、事務としても神経を使う業務になっている」との声がある。昨年の区内小学校で起きた臨時職員による給食費着服事件も一学

学校の現場では、行事や授業日数が異なるため、

自治体判断で行なえるだけに、将来的な施策として研究をしていくことが大切な時期といえる。

教育現場は、移行期のため、様子を見ながら保護者への説明、対応をしていくと答弁している。

これまでも練馬区は、積極的に0〜2歳児の枠の拡大を私立幼稚園の協力を得て「ゼロ」に向け進めてきたが、3歳児の壁が新たに生まれることから、1年単位での「保活」

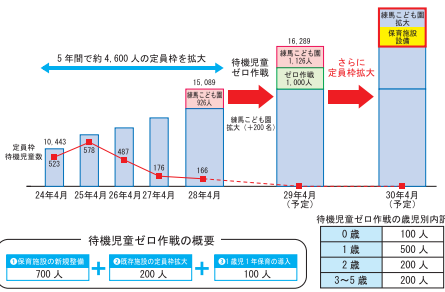
「子どもが健やかに育つよう子どもの声を大切にしたい。施策に努力したい。」

「子どもが健やかに育つよう子どもの声を大切にしたい。施策に努力したい。」

また、無償化については、それぞれの議会でも議論され、賛否が分かれるところだが、親の収入の格差で「子どもの貧困」が社会現象となり、日々の生活におわれている家庭の状況も見え隠れしていることから、「給食費は保護者の責任」として片付けてはならない。

また、子どもにかかる教育費が無償であるならば、給食費も同じにするべきでは……との声も。

全国的に興味を持ち、学習に取り組む姿勢を培える科学教室や子どもの森公園の増設を要望した。



練馬区における保育定員枠の推移

教育改革と学習指導が変わる

—生きる力・働ける人 づくりにシフト—

だからこそ、体験学習が重要になってくる

聴いても「わかんない」「めんどくさい！」、「いんじやない！」と即答してしまう世代たち。

4年後の大学入試が大きく変わる。大学入試のセンター試験方式が廃止され、記述式を中心になる。新学習指導要領も10年ぶりに変わり、「生きる力」と外国語教育を重視していくとのこと。

「高齢者相談センター」 が変わる!!

「コミュニティデザインと
ダブルケア対策も」

これまでの25カ所の「高齢者相談センター」は介護サービス
の対応や地域の高齢者の相談窓
口として担っていたが、環境が
整い次第、その地域の出張所や
区民館等に移し、平成30年度か
らは、名称も『地域包括支援セ
ンター』と変更をする。

少々お堅い名前と感じるが、
人口規模が減少している自治体
では、地域の「こども・高齢者・
障がい者」等を包括的にセンタ
ーで対応しているのこともある
ことや、区としても今後、病院
から在宅療養へのシフトが必要
な「医療と介護」の連携をセン
ター機能としていくためには、
名称の変更も致し方ないと考え
ている。

高齢者人口が多い練馬区とし
て、まずこの1年は、地域課題
への業務遂行ができるよう、区
の支援体制への充実が必要と要
望した。

また、家族介護の場合、幼い
子どもがいたり、家族が離職し
てしまう事情が生じやすいこと
から、子ども家庭支援センタ
ーや生活福祉課等の横断的な連

携が図れるよう努めること。

そして、これまでは、公園
や集会所等の設置が中心だった
コミュニティのあり方も「人
と「人」の繋がりがから社会的
な孤立化を防ぐような「コミ
ニユティ・デザイン」が求
められてきているので、行政
もしっかりと勉強し、高齢者
相談センターと共に、地域支
援体制づくりに努めるよう要
望した。

としまえん城址公園に 大きな期待?!

「総合体育館・都立動物愛護
相談センター」の設置を

練馬区に馴染みの深い「とし
まえん」都市計画では、防災公
園としての都が優先順位を持っ
ており、今後の動向が気になる。
それならばと、都に向け、以下
の案を提供するよう求めた。

【その一 総合体育館建設】

谷原総合体育館が建設されて
48年が経過し、大規模改修をし
なくてはならないが、解体費含
め100億円もの試算が示されたが、
東京オリピック・パラリンピッ
クの必要な建設に向け、労働者
の確保が難しい等の理由から、
現在、体育館建設は保留となっ
ている。そこで注目されたのが、
「としまえん」にある西側の広

大なグラウンドである。春・秋に
は、企業団体等が運動会やイベ
ントとして利用がされている。

もし、ここに、東京体育館な
みの大型アリーナが設置された
なら、全天候型の運動会やイベ
ント・音楽ライブやスポーツ観
戦等による集客力が見込まれる
ことや災害時には、大型避難所
になる。

【その二 動物愛護相談センター 移転先建設地として】

世田谷区にある都立動物愛護
相談センターの老朽化により、
移転・建替え計画がある。これ
までは、動物の殺処分センター
のイメージが強いことから建て
替えるは大賛成である。

都は、「動物殺処分ゼロ」
を目指し、犬・猫の里親会（譲
渡会）を推進し、最近では、
「保護犬・保護猫」を飼う人も
急増している。

練馬区も「地域猫推進ポラン
ティアグループ」活動や動物と
の共生社会確立に力を入れている
ことから、是非、京都府動物
愛護センターやドイツの「ティ
アハイム」のようなセンター建
設をとしまえんに移転・設置を
都に求めてほしいと要望。そう
すれば、災害時には、体育館&
動物センターII ペット同行避難
所として發揮することが出来る。

資源回収【ペットボ トル・紙・缶】のリ サイクル事業経費を 知っていますか?

容器包装廃棄物（古紙やビン・
缶等）の3R（リデュース・
リユース・リサイクル）循環型
社会は、区民の意識も高まり再
資源化への仕組みは至極当然と
なっている。だが、分別回収等
の中間処理義務は各自自治体の一
般財源で行うため、各自自治体財
政を逼迫させていることも知ら
なくてはならない。

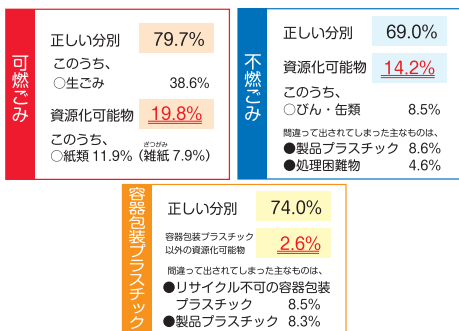
【何故、自治体が回収を】

リサイクルコストはその製品
を作った者が負担すべきだが、
効率の良い清掃回収システムを
持っている自治体が望ましいこ
とから自治体業務になる。そし
て、自治体の負担軽減のために
回収した資源は、企業が買い取
るとしている。ところが……。

【回収経費と買取の金額の現実】

下記の表は、練馬区が資源と
なるビン・缶・ペットボトル等
の回収量と資源化経費とそれを
売却した際の金額を示している。
見ても解るように、売却しても
コストの方が上回り、区の負担
額割合の大きいことがわかる。
確かに、循環型社会が確立し

てる時代だけに否定していくも
のではないが、清掃や資源回収
に税金が投入されている現実。
また、これらを生産者に負担さ
せれば、その分商品単価に反映
していく……。将来負担や施策
の優先順位が求められていく時
代だからこそ、区民として何が
できるかを考えていきたい。



1 古紙（集積所回収および拠点回収）
※紙パック拠点回収事業は25年度まで終了した。

	25年度	26年度	27年度
回収量 (t)	16,522	15,862	15,559
回収資源化経費 (千円)	368,836	374,380	366,139
売却費 (千円)	108,003	127,754	142,694

2 びん・缶（街区路線回収）

	25年度	26年度	27年度
回収量 (t)	7,457	7,336	7,355
回収資源化経費 (千円)	534,971	547,289	555,323
売却費 (千円)	74,592	91,282	82,979

3 ペットボトル（街区路線回収および拠点回収）
※ペットボトル拠点回収事業は26年度まで終了した。

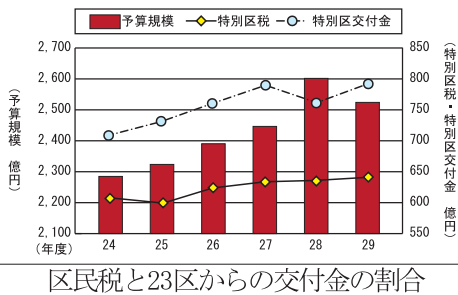
	25年度	26年度	27年度
回収量 (t)	2,336	2,285	2,086
回収資源化経費 (千円)	297,340	300,821	269,569
売却費 (千円)	112,742	136,873	361,554

練馬区経年の回収・資源化経費

28年度の資源状況

区財政のしくみ

左記の表は、ここ数年の財政収支状況である。



議会改革いつやるの？今でしょ!!

— 議会トピックス —

今定例会は荒れた。東京都議会の豊洲問題での石原元都知事の発言により「百条委員会」に前川練馬区長が出席すること……。また、議員自ら「身を切る改革」を目指そうと様々な議論がされた。以下、トピックスとして掲載する。

【議員定数削減の議案が否決された!】

議会最終日。わが会派は、改革の一つとして、議員定数を50名↓48名の2名削減を求める議案提出賛同者となった。確かに、人口が増えている区には、区民の民意の代弁者として議員数は必要と考えるが、今やITが発達し、42キロ範囲の区内の移動も機能的な環境となってきた練馬区。チェック機能として必要であるという反対会派も……。だが、20年前に議員定数の削減を行なって以来、議員報酬・議員の

あり方検討会等の討議の場を要望しても、なかなか実現せず、議員となつて10年。何も変わらない現実に、今回の公明党会派の提案に議論を重ね、今定例会でやらなくて、いつやれるのか。今しかない。と決断し賛同者になった。

だが、全会派の賛同は得られず、残念ながら、22対27名で否決となった。

【費用弁償支給も0円に!】

議員が登庁するときに必要な交通費等も4月から《0円》とした。実費か？ 不支給か？ 議論をしてきたが、練馬区議会も社会的な流れに合わせて対応すべきとなった。そうなれば、約12百万円の経費削減となる。

【政務活動費がHPに公開される!】

各会派の経理責任者が集まり、23区中20区が既にHPに公開しており、

練馬区も遅ればせながら(平成27年6月分の収支状況)より公開することになった。使途基準別に活動経費を年度毎にまとめ総括表として練馬区議会のHPからアクセスできるようにする。

議会自ら情報公開をしていく時代。これからは身を引き締め、開かれた議会公開に尽力したい。

【議員の緊急連絡メール網!】

災害時、被災規模が地域毎に違うことや行政との情報提供や情報交換を瞬時に対応していくための【緊急メール網】を構築することとなった。

【意見書三本・決議文一本が決まる】

全会派一致で、国に求める意見書三本と、区に求める委員会決議一本が決まった。

・女性議員の割合が全国的に低いことから、政策的に議論する政治の場へに女性が参画できることを求める「政治分野における男女共同参画の推進に

関する法制定の早期実現を目指す意見書

新年度活動予定

- 4月6日 小学校入学式
- 7日 国民健康保険料負担への軽減や国の責任を明確にしていく「国民健康保険料の負担軽減について」
- 10日 地区区民館 総会
- 11日 御岳山参拝
- 12日 連合東京セミナー
- 17・18日 介護関連会議
- 20日 健康福祉委員会
- 21日 医療・高齢者等II度の拡充と給付型奨学金制度の創設について
- 23日 てる姫まつり
- 5月13日 こどもまつり
- 19日 医療高齢者委員会
- 23日 健康福祉委員会
- 6月9日〜7月7日 第二回定例会
- 23日 都議選告示 (途中、休会あり)
- 7月2日 都議選投票日

□後記□

議員の政治姿勢が問われている。様々な報道で嫌気が刺したわけではないだろうが、ここ数年、民意の反映となる選挙への投票行動も低く、投票率は低迷している。

それでも、任期満了による選挙はある。今年の7月2日は、東京都議会議員選挙の投票。毎日のように豊洲移転問題が報道され、ゴールが見えてこない……。 「議員自ら身を切る改革」との言葉は、聞こえの良い言葉と一笑されるだろうが、でもやらないより、行動を起こすことへの意義はあると思っている。是非、パフォーマンスで終わらせないために、有権者が「政治」を注視・監視をしてほしい。